

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.7, 1995.3 : (18)-(74)
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3386
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

大木英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ、1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。現在、東京神学大学教授。学校法人聖学院理事長。

〔著書〕『ピューリタニズムの倫理思想』『ピューリタン——近代化の精神構造』『終末論的考察』『終末論』『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』『キリスト入門』『歴史神学と社会倫理』『偶然性と宗教』『バルト』『日本の神学』（共著）『主の祈り』『新しい共同体の倫理学』など。

寺田正義 てらだ・まさよし

1937年生まれ。東京教育大学文学部英文科卒業。山形大学教育学部英語科助教授、都留文科大学文学部英文科助教授を経て、現在、聖学院大学教授。

〔著書〕『英語科教育法入門』『新英語要覧』『社会人のための英語常識小百科』（以下共著）など。

ペーター・コロフスキー Peter Koslowski

1952年ゲッティンゲンに生まれる。1979年ミュンヘン大学哲学博士。1985年からヘルデッケ大学教授、1986年からハノーヴァー哲学研究所所長。

〔著書〕『進化と自由』(Evolution und Freiheit) (共著)『ポスト・モダンの文化』(Die postmoderne Kultur) “Die dichterische Philosophie Ernst Jünger” “Die Ordnung der Wirtschaft. Studien zur Praktischen Philosophie und Politischen Ökonomie” など。

鈴木伸太郎 すずき・しんたろう

1956年生まれ、東京大学理学部物理学科卒業。立教大学大学院社会学研究科博士課程修了。現在、近畿大学教養学部専任講師（社会学）。

〔著訳書〕『悪の問題』（共著）、訳書にコロフスキー『ポスト・モダンの文化』（共訳）など。

土方 透 ひじかた・とおる

1956年生まれ。1981年中央大学法学部法律科卒業。1987年中央大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、聖学院大学政治経済学部助教授。
〔著訳書〕『ルーマン——来るべき知』（編著）N. ルーマン『法システムと法解釈学』、同『信頼』（共訳）、同『法と社会システム』、同『社会システムのメタ理論』、同『社会システムと時間論』、同『システム理論のパラダイム転換』（以上、部分訳）

山脇直司 やまわき・なおし

1949年青森県に生まれる。一橋大学経済学部卒業の後、上智大学大学院哲学研究科修士課程終了。1978年よりミュンヘン大学哲学部に留学し、1982年哲学博士号を取得。帰国後、東海大学文学部明学科専任講師、助教授、上智大学文学部哲学科助教授を経て、現在、東京大学教養学部関連社会科学科教授。
〔著書〕『ヨーロッパ社会思想史』『包括的社会哲学』ほか論文として、「シュライエルマッハーの哲学思想と学問体系」「進化論と社会哲学——その歴史・体系・課題」「倫理的経済学——その意義・再考・可能性」など。

高坂史朗 こうさか・しろう

1949年大阪に生まれる。関西学院大学博士課程単位取得。現在、近畿大学教養部助教授。
〔著書〕『実践哲学の基礎』『悪の問題』Eduard Zwierlein (Hrsg.) Postmoderne Kultur und Wirtschaft ほか。訳書に、ペーター・コフロフスキー『ポスト・モダンの文化』など。

荒木忠義 あらき・ただよし

1959年ウィーン生まれ。1990年テュービンゲン大学神学部において『日本神学思想史における高倉徳太郎の生涯とその著作』で神学修士号を取得。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。
〔著訳書〕"Mission und Heilsgeschichte bei Karl Hartenstein" 聖学院大学論叢第4巻2号(1991); "Seelsorger und Seelsorge in einer Permissiven

Gesellschaft“ 聖学院大学総合研究所紀要 No. 2, 1991; 『ペーター・バイヤーハウスにおける「霊の見分け」神学 (diakrisis)』「キリスト教と諸学」第8号 (1993); W. パネンベルク『キリスト教社会倫理』(共訳); W. パネンベルク編著『歴史としての啓示』(共訳) 他
神学雑誌「形成」に(コラム)「ドイツ事情」を連載中。

野呂(金窪)有子 のろ(かなくぼ)・ゆうこ

1951年生まれ。1975年東京教育大学(現 筑波大学)文学部文文学科英語学英文学専攻卒業。1977年同大学大学院文学研究科修士課程修了。英文学専攻。現在、東京成徳短期大学助教授。

〔著書〕『C. S. ルイス「ナルニア国年代記」読本』(共著)『イギリス革命におけるミルトンとバニヤン』(共著)新井明選歴記念論集『ミルトンとその光芒』(共著)『十七世紀と英国文化』(共著・近刊)ほか。

エバート・D・オズバーン Evert D. Osburn

Multomah School of the Bibleなどで学び、1988年 Oregon Western Seminary で、Exegetical Theology の M. A. を取得。1988年、The Independent Fundamental Churches of America で按手をうけ、日本キリスト教団西荒川教会に宣教師として赴任、現在同教会牧師。1992年4月、聖学院大学総合研究所所員になり、現在に至る。

ケネス・O・アンドラスン Kenneth O. Anderson

1951年生まれ。アメリカ、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校文学部卒業後、カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校にて文学修士取得。現在、女子聖学院短期大学教授。

〔著書〕American Sentiment, A Saled Bowl of American English, A Dictionary of American Proverbs. 『英語イディオム知識事典』(共著)など。